

平成26年 第26回帯広市教育委員会会議録

1. 平成26年12月25日木曜日 16時30分～17時45分
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 教育委員会室に招集する。

2. 本日の出席委員

教育委員長	田 中 厚 一
教育委員	市之川 敦 子
教育委員	門 屋 充 郎
教育委員	伊 藤 成 昭
教 育 長	八 鍬 祐 子

3. 本日の議事日程

- | | |
|-------|---|
| 日程第 1 | 会議録署名委員の指名について |
| 日程第 2 | 報告第 29 号 ジュニア文芸第5号の審査結果について |
| 日程第 3 | その他 (1) 帯広市議会12月定例会の報告について |
| | その他 (2) 教育懇談会の概要報告について |
| | その他 (3) 西帯広地区中学校適正配置地域説明会の概要報告について |
| | その他 (4) 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について |
| | その他 (5) 今後の事業予定について |
| | その他 (6) 寄附受納について |
| 日程第 4 | 報告第 30 号 第三期帯広市子どもの読書活動推進計画(原案)に関するパブリックコメントの結果について【非公開】 |
| 日程第 5 | 報告第 31 号 帯広市新総合体育館建設基本計画(原案)に関するパブリックコメントの結果について【非公開】 |
| 日程第 6 | 議案第 74 号 職員の処分について【秘密会】 |
| 日程第 7 | 報告第 32 号 教職員の処分について【秘密会】 |

田中委員長

これから、平成26年第26回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(服部課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、市之川委員及び門屋委員を指名いたします。

日程第2、報告第29号、ジュニア文芸第5号の審査結果についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

大久保部長

報告第29号、ジュニア文芸第5号の審査結果についてご説明いたします。議案書1ページをご覧いただきたいと思います。本件は12月7日に開催されました第3回ジュニア文芸実行委員会におけますジュニア文芸第5号の審査結果について報告するものでございます。次に2ページをご覧いただきたいと思います。はじめに受賞作品及び入賞者についてでございます。最優秀賞には北海道立柏葉高等学校1年、巖真弥さんの童話、魔法をあげよう、優秀賞には帯広市立帯広第四中学校2年、富樫凜香さんの童話、かぼちゃ屋の友達、音更町立共栄中学校3年、鈴木愛理さんの俳句に決定いたしました。ジュニア文芸推進奨励賞には、新得町立新得中学校に決定いたしました。この賞につきましては、昨年創立し、全校を挙げて3年連続してジュニア文芸に取り組んでいただいている学校に贈呈するものでございます。次に入選作品及び入選者につきましては、記載のとおり小説3名、童話2名、詩4名、短歌10名、俳句13名となっております。次に3ページの下段をご覧いただきたいと思います。応募者数及び入選者数は表にありますとおり、応募者数294名に対し、最優秀、優秀賞の3名を含め35名が入選となっております。今年度、最優秀賞を受賞しました巖真弥さんにつきましては、昨年、帯広第八中学校3年生在学中にも最優秀賞を受賞しており、2年連続の受賞となります。これらの入選作品は平成27年2月発刊予定のジュニア文芸第5号に掲載を予定しております。なお、贈呈式につきましては、平成27年2月22日に帯広市図書館で執り行う予定となっております。以上です。

本江 館長

引き続きまして補足説明をさせていただきます。平成26年10月28日、第22回帯広市教育委員会でご説明させていただきましたジュニア文芸第5号の応募結果に誤りがございましたので、この場をお借りして説明させていただきたいと思います。議案書4ページに訂正後の応募結果を参考として添付させていただきました。集計と分類の誤りにより、応募者数と応募作品数に誤りを生じたもの

でございます。訂正箇所は網掛けの部分でございます。2の応募状況（1）応募者数が1名増えまして、第5号、269名に、（2）応募作品数中、童話が120点から1点増え121点に、短歌が50点から48点に、俳句が76点から78点に訂正させていただくものです。その結果、（3）応募作品数の集計としまして、個人応募作品数が13点から14点に、全体の応募作品数293点から294点に訂正させていただきます。誠に申しわけありませんでした。今後、受付時の確認、仕分けの際の複数による確認を行い、このような誤りを繰り返さないように事務処理を徹底してまいります。補足説明は以上です。

田中委員長
各委員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了いたします。

日程第3、その他に入ります。

その他（1）帯広市議会12月定例会の報告についてを議題といたします。

野原調整監

帯広市議会12月定例会におけます教育委員会に関する質疑のうち、私の方から学校教育部に関する質疑の概要についてご報告させていただきます。議案書5ページでございます。今回一般質問18名中6名の議員からご質問がございました。はじめに一般質問、榎山議員に、教育委員会制度の改正について、教育委員会の職務権限は変更しておらず、最終的な決定権限は執行機関である教育委員会に留保され、政治的中立性、継続性・安定性は確保されるものと認識しているなどを答弁しております。次に熊木議員に、教員の業務は多岐にわたる中で、各種相談業務への人的支援、また学校現場の声などの情報収集に努める旨を、また、部活動については、外部指導者の協力をいただいている状況について答弁しております。次に高田議員に、適正配置について、通学距離や防犯、避難場所などの意見を十分に踏まえながら取組む考えと、また、コミュニティースクールの趣旨を活かした取組みを現在進めている旨を、また、特別支援教育に関し、児童生徒数の状況と支援員の適切な配置について答弁しております。次に村田議員に、第二中学校、緑園中学校の適正配置については公共施設マネジメント、小中一貫の考えなどを踏まえるべきとの質問に対し、適正配置をすすめるにあたっては、活力ある教育内容の展開や多様な人間関係を体験し学ぶことで、切磋琢磨しながら、社会性・集団性を培うとともに、教職員の配置など、指導体制の充実、部活動や学校行事等における選択肢の提供など、教育環境の充実、教育水準の維持向上を図ることとしており、第二中学校、緑園中学校については、今後においても、両校の歴史・伝統を大切にしながら、丁寧に説明していく旨答弁しております。次

に杉野議員に、中学校の自衛隊での職場体験の状況と将来の職業について広く知り、体験を通じ夢や希望を持つキャリア教育の考え方などから、発達段階や望ましい教育的効果等に配慮しながら、より多くの職業について知る学習機会の充実についてを答弁しております。次に稗貫議員に、現在の学校給食の市民の声に対し、残食に対する工夫、地元食材の調達、メニューに合わせた食器の提供、意見聴取の方法、魅力ある献立づくり、充実した情報発信などについて答弁をしております。議案審査特別委員会では、学校教育部への質問はありませんでした。学校教育部に関する報告は、以上であります。

葛西調整監

続きまして、生涯学習部に関する質疑の概要についてご報告させていただきます。今回一般質問18名中5名、議案審査特別委員会12名中1名の議員からご質問がございました。まず、一般質問の熊木議員の質問中、スポーツ指導の環境整備については、総合型地域スポーツクラブ相互の情報交換や指導者の育成が必要である旨を答弁しております。次に村田議員の質問中、おびひろ動物園における道内園館の年間パスポート割引制度の導入効果につきまして、各施設の魅力や特色にふれる機会が拡大し、鑑賞や学習機会の広がりにつながる効果があった旨を答弁しております。次に稲葉典昭議員の質問中、新総合体育館のエネルギーにつきまして、自然エネルギー利用に関し、設備の初期投資や維持管理費と節減効果とのバランスに配慮し判断することや避難所機能の検討も必要であることなどを答弁しております。次に稗貫議員の質問中、イベント・行事の内容と評価につきまして、フードバレーとかちマラソン大会とISUスピードスケートワールドカップ帯広大会の開催状況及びそれぞれの課題に対する今後の工夫・改善に取り組む旨の答弁をしております。次に上野議員の質問中、歴史的建造物等の保存につきまして、古建築などの貴重な財産をできる限り後世に残すため、市民の機運の醸成を図りながら、特に歴史的価値の高い文化財の保護促進に努めていく旨の答弁をしております。次に議案審査特別委員会では、佐々木とし子議員から、とかちプラザ指定管理者の選定についてのご質問があり、市として指定管理者が行う業務の把握・確認や指導などを適切に行う旨の答弁をしております。生涯学習部に関する報告は、以上であります。

田中委員長
各委員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他(2)教育懇談会の概要報告についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

嶋崎 部長

平成26年度教育懇談会の開催結果の概要についてまとめまし

たのでご報告させていただきます。議案書7ページをご覧ください。はじめに開催日程及び開催数でございますが、10月29日水曜日から11月17日月曜日の期間に市内コミュニティセンターなど6カ所で開催し、合計104名のご出席をいただいたところでございます。昨年度の参加者数は134名でございましたので若干減ったということでございます。出席者はPTA関係者や地域でボランティア活動をされている方々が多かったように感じてございます。次に開催内容でございます。昨年同様に特定のテーマを設けずに、冒頭教育長から教育委員会の取組みをご説明していただき、その後、教育全般に関する意見交換を行ったところでございます。次に3の主な意見でございます。全国学力学習状況調査結果についてのご意見を始め、学力向上の取組み、家庭学習、通学路の安全、学校図書館の充実、学校給食などの学校教育に関することから、各地域での生涯学習活動の状況やスポーツ少年団や高齢者学級に関するることなどの生涯学習に関するご意見もいただいたところでございます。次に8ページのアンケートの概要でございます。参加者全員104名の方から提出していただきまして、回収率100%でございます。アンケート結果については、開催をどこで知ったかという問いに対し、全児童生徒に配布したチラシや学校からの声かけで参加した方が多く、その他、広報おびひろ、町内会の回覧で知った方が多かったという結果でございます。懇談会を毎年開催していることにつきましては、8割の方が毎年開催していることを知っており、約3割の方が今回初めて懇談会に参加されております。参加した感想については、良い、まあ良いと肯定的な意見を半数以上いただいたところがあります。参加しやすい曜日や時間帯につきまして、曜日は7割以上の方が平日が参加しやすい、時間帯は6割の方が夜間が参加しやすいとご意見をいただいております。次にテーマを設けずに実施したことについて、7割以上の方から良かったとご意見をいただいております。次に意見、感想については、様々な意見を聞いて良かったというお話を始め、学校図書館の充実や学校給食について、また、国の学級編成の状況、特別支援教育の充実などのご意見がございました。なお、教育懇談会でいただいたご意見・ご質問とそれに対します回答の概要につきましては、9ページから13ページにかけて一覧としてまとめてございますので、後ほどご覧いただければと存じます。最後に開催結果の周知につきましては、15ページのA3の概要版並びに先ほどのご質問・ご意見要旨一覧を市のホームページにて公開するとともに、各学校への配布、コミセンなどの施設での掲示、関係各課を通じての周知を行ってまいりたいと考えてございます。以上でございます。

田中委員長

これから質疑に入ります。

伊藤 委員 毎年参加させていただきまして、貴重なご意見を拝聴することができて大変勉強になっております。毎年継続すべきではないかと思えますが、教育懇談会という名称はいいのですけれど、今までのやり方を一度休んで、少し目先を変え、今年予定されているかもしれませんが、各関係団体との懇談会も1つの選択肢として行われてはどうかと思えます。例えば、社会教育や学校評議員とか、地域支援本部の連絡協議会の代表ですとか、PTA、あるいはエリアファミリーについてもお話を聞くなど、吟味していただければと思います。

田中委員長 今回で6回目ということで、教育委員の皆さんに分担して出席していただいておりますので、この際、感想をいただければありがたいと思えます。

門屋 委員 ここに参加している方は関心が高い方が多いので、意見をきちっと言っただけの方が多いと思えますから、やり続けることが大事だろうと思えます。ただ、全体的に一般の方が少なく、関係者が多い気がします。今、伊藤委員の言われたことは以前にも話題になったことがあったかと思えますが、1つのやり方だろうと思えます。各学校でボランティアをされている方は相当熱心で気づきやいろいろな意見もあるでしょうから、それらについて学校ごとに意見を聞いているのでしょけれども、我々がお聞きして意見を交換することは意義があるのではないかと感じており、伊藤委員の言われたような形もご検討してはいかがかと思えます。

市之川委員 去年より少し減ってしまいましたが、毎年、広報などで声かけは十分していて、参加人数がこの人数というのは、毎年このような感じなのだと思いますが、3割の方が初めて参加されたということは良い方向へ向かっている気がしました。テーマを設けなかったことは良かった方が多いということで、全般に広く設けたことが良かったという感じがしました。総合体育館に関する質問がなかったので、これからなのでしょうか。6年ほど経って、こちらなりに努力して開催していますが、アイディアとして、先ほど伊藤委員が言われたことも1つだと思えました。

田中委員長 私も3回出席させていただきましたけれども、過去に比べると自由な意見を交わせる場面が多くなってきたという印象を持ちました。教育委員会を始め教育長の人柄だと思えますが、気軽にお話しができる雰囲気作りができたことは非常に良かったと思えます。市之川委員が言われたように、人数的にはこのくらいなのかと思わざるを得ないところがあります。今回大正地区は少し少なかったのが気になりましたが、通常でも130名前後だと思えますので、これは仕方ないでしょう。伊藤委員や門屋委員からお話があったように変えていくなり、違った方向を打ち出していくということなのかと思

っております。基本的には6回の方向性は間違っていないと感想を持っております。

八鍬教育長

6回にわたり教育懇談会を開いてきて本当にありがとうございます。委員長からもお話がありましたが、最初は制度を知ってもらうところから始まったものですから、大変堅苦しい教育懇談会からスタートしました。その後、複数会参加される方の様子も見えてきて、テーマも試行錯誤しながら変えてきましたので、話しやすい雰囲気になってきたと思います。今後のあり方、日時の設定やタイトルを事務方と検討した上で委員の皆様にお諮りし、より多くの方が気楽に来て意見を出し合えるよう、これからの施策に少しでも生かせるような教育懇談会を引き続き行っていきたいと思っております。いろいろな団体と行うことも検討していかなければなりませんけれど、今までやり続けてきたコミセンを中心とした相手を特定しない一般の方々を対象としたあり方について、大事な歴史として今後どう繋いでいくかということと、いろいろな角度からも検討していかなければならないと思っておりますので、今後ともどうぞよろしく願います。

田中委員長

他になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

その他（3）西帯広地区中学校適正配置地域説明会の概要報告についてを議題といたします。

東堂 部長

西帯広地区中学校適正配置地域説明会の概要報告についてご報告させていただきます。議案書16ページをご覧ください。本説明会は生徒数の減少に伴い、学校の小規模化が進む西帯広地区の帯広第二中学校と緑園中学校の両校を統合することにより、適正配置を進める実施計画の原案を保護者や地域住民にご説明するため開催したものでございます。説明会は11月18日から27日まで、西帯広地区の対象となる第二中学校と緑園中学校を始め、校区にある西小、つつじが丘小、開西小、森の里小の4つの小学校の計6つの会場で開催し、合計159名の参加がありました。主な質問・意見では、通学距離等に関して、二中区域から緑園中までは遠い、冬に歩いて通うのは困難、スクールバスを検討してほしいというご意見を多数いただきました。通学に関連しまして、街灯が少なく暗い道が多い、不審者も出ており、部活で帰りが遅い場合など心配、交通量の多い幹線道路の通学が心配ということで、十分な安全対策を考えてほしいというご意見も多くありました。まちづくりの観点では、学校を中心としたコミュニティを大切にすべき、緑園中に移れば情熱も失せる、人口を増やしていこうという視点がない、学校がなくなれば地域に人が集まらなくなり、衰退につながるのではという懸念の声や二中の開校当時、地域住民が川原から石を運ぶなど、学校づくりに役務を提供したり、寄附者が学校用地のすべてを無償で提供して

いただいたという歴史を十分に踏まえて計画を遂行すべきというご意見や、反対意見があっても平成30年の統合のスケジュールは変わらないのかなどのご意見がありました。学校の規模について、統合で大きくなると十分な生徒指導ができるか心配、一定の規模が必要と数字だけで決めるのはどうか、統合新校の位置の検討や統合校の校舎を何年使う予定か、統合後の学級編成や制服・ジャージ、部活動の統合についての質問、また、二中は長く盲学校と交流してきた意義と継続の考えや生徒の心理面の影響、PTAの統合についての質問がありました。二中の施設・用地の利活用に関しては、単純に売り払うのでは周辺の人には納得しないのでは、避難場所がどうなるのか不安というご意見や統合による経費削減など様々のご意見がありました。こうした地域説明会の質疑の概要につきましては、ニュースとしてA4版のペーパーにまとめて、西帯広地区の小中学校の保護者に配布したほか、地区の各町内会で回覧していただくとともに、市のホームページへ掲載し、説明会に参加できなかった方々にも周知を努めているところであります。なお、西帯広地区中学校適正配置に係わる今後の日程については、地域説明会でのご意見を十分に踏まえまして、持ち帰りとさせていただいた通学支援や通学時の安全確保の対応について、市の考え方を説明し、改めて理解を求めていくため、第2回目の地域説明会を年明けの1月13日14日、帯広第二中学校と緑園中学校で開催することとしまして、地域説明会ニュースや開催案内のチラシを配布し、保護者や地域に周知したところでございます。報告は以上であります。

田中委員長
市之川委員

これから質疑に入ります。

地域説明会を行いまして、要望や不安などの意見がいろいろあったと思いますが、頭から受け付けないということなのか、丁寧な説明を今後続けることによって納得していただだけそうなのか、感触としてどうでしょうか。

東堂 部長

6つの会場を回りまして、様々のご意見をいただいたところがございます。やはり大きかったのは、二中区域から緑園中への通学距離が遠いというご意見が多くありました。子どもたちの通学について、特に中学生は部活で帰りが遅くなるということを親御さんが心配していることも十分聞き取れました。二中区域にしてみると、学校が向こうへ行ってしまうということでコミュニティがどうなるのかという心配をされるご意見もいただきまして、各会場でいただいた意見を私どもも真摯に受け止め、保護者の不安解消や地域に納得してもらえるように、さらに丁寧な説明をする努力が必要であると感じたところであります。頭から反対というよりも、市でも対策を考えたことだからという方もいらっしゃいましたし、ただ、距離については考えてほしいというご意見が多くございました。

伊藤 委員 今後のスケジュールについて、第2回目が1月にあるということですが、その後、残された課題があるとなれば、3回目、4回目の説明会を丁寧に行うということですか。

東堂 部長 2回目は1月13、14日に行い、理解を得るべく考え方を丁寧に説明させていただきますけれども、地域からのいろいろな声がございまして、地域の皆さんの納得が得られるためには、何回か説明会が必要になってくると思っておりますので、丁寧に行っていきたいと考えております。

門屋 委員 タイムスケジュールのことで、最終的に平成30年となると、いつまでにやりますと決めるのでしたか。

東堂 部長 今、原案をお示ししてございますけれども、地域の意見を集約し、反映させた形にして、今年度中に実施計画をまとめて、最終的に決定していきたいと考えておりますけれども、もし、多少新年度にずれ込むことがあっても、なるべく早めに地域の納得感を得られるところまでこぎつけ、平成30年の実施を目処に進めていきたいと考えてございます。

田中委員長 他になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

その他(4)平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

橋場 部長 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載についてご説明させていただきます。本日配付いたしました議案書11ページをご覧くださいと思います。今年度から全国体力・運動能力、運動習慣等状況調査に関する実施要領におきまして、教育委員会や学校が保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要であると明記されますとともに、都道府県教育委員会は、域内の市町村教育委員会の同意を得た場合には、当該市町村名、または当該市町村教育委員会が設置管理する学校名を明らかにした公表を行うことができるとされたところであります。こうしたことから、北海道教育委員会では、道内の市町村教育委員会の同意を前提として、お手元の資料のような様式に基づいて、市町村の結果の公表をしたい旨、この度市町村教育委員会・委員長あて、正式に同意についての照会文書が届いたところであります。調査結果の公表につきましては、これまで各種グラフ等を用いて、より分かりやすい公表のし方を追究してまいりましたほか、9月2日の教育委員会会議でご確認いただきましたとおり、今年度からは、学力の結果同様に本市全体の状況につきましては、数値で公表することとしたところでございます。北海道教育委員会の様式で公表されます内容につきましては、学力等の調査

結果同様に本市独自の公表内容を超えるものではないと判断されま
すことから、別添資料のとおり、帯広市教育委員会として同意し、
回答したいと考えているところでございます。説明は以上でござい
ます。

田中委員長
各 委 員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他（５）今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

野原調整監

私から学校教育部に係わる事業予定についてご説明いたします。
議案書 18 ページでございます。教育研究所では、帯広市教育研究
所冬季教員研修講座を 1 月 6 日から 9 日まで、市役所第 6 会議室ほ
かを会場として開催いたします。今日的教育課題に関します体験、
実技、演習講座を開催し、市内学校教育の充実を図るものです。次
に第 2 回校内研究推進協議会を 1 月 30 日にとちプラザで行いま
す。情報交換や教職員としての専門性と資質の向上を図ることを目
的とするもので、今回はエリアファミリーにおける小中学校の連携
を柱に話し合いを進める予定でございます。

葛西調整監

続きまして、生涯学習部に係わる事業についてご説明いたします。
まず、図書館では、冬休みこども図書館のつどいを 1 月 8 日に予定
しており、北海道文学館の共催としては初めて開催いたします。次
に、むしむしサイエンス授業を 1 月 14 日に帯広畜産大学附属図書
館との連携事業として行います。19 ページ、百年記念館では、ロ
ビー展、ゲロリからはじまるスケートの歩みを 1 月 15 日から 2 月
8 日まで開催します。市内の私設博物館の昭和ナツカシ館の所蔵の
下駄スケートなどの実物資料、記念館で所蔵しております写真など
で、明治から昭和にかけての帯広・十勝の子どもたちの冬の遊びの
移り変わりを紹介するものです。次に、博物館講座として、大昔の
とち～帯広の遺跡を 1 月 17 日に、約 9 千年前の集落遺跡として
著名な八千代 A 遺跡について研究と動向を紹介いたします。次に第
33 回郷土美術展を 1 月 23 日から 2 月 1 日まで、十勝管内で絵画、
工芸などの創造活動をされている方々の展覧会を開催いたします。
20 ページ、動物園では 1 月 17 日に冬の裏側探検隊を実施いたし
ます。スポーツ振興室ではスケート教室やクロスカントリースキー
の行事を予定しております。また、本日配付してございます資料の
13 ページに 4 館連携事業を載せてございます。以上です。

田中委員長
各 委 員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他（６）寄附受納についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 課長

企画総務課に係ります寄附についてご報告いたします。十勝道路株式会社代表取締役、山口富仁様より、平成26年12月3日付、帯広市立小学校における教育環境の一層の充実を図るためとして、袋詰焼砂10kg、330袋、71万円相当のご寄附をいただきました。以上です。

大林 課長

学校教育課の寄附4件についてご報告いたします。物品2件、現金2件でございます。市内在住者の方から11月27日に児童用図書68冊、10万円相当を帯広市立帯広小学校の教育環境の一層の充実を図り、児童の読書活動に活用してもらうためとしてご寄附いただきました。次に市内在住、〇〇〇〇様から、12月16日に児童・生徒用図書38冊、10万円相当を帯広市立清川小学校、帯広市立清川中学校の教育環境の一層の充実を図り、児童・生徒の読書活動に活用してもらうためとしてご寄附いただきました。備考には記載してございませんけれど、今回で10回目、総額102万3,462円となるものでございます。次に東京都在住、〇〇〇〇様から、12月9日に現金10万円、帯広市の教育の振興に役立てるためとしてご寄附いただきました。次に市外在住の方から、12月12日に現金4万円を、これも帯広市の教育の振興に役立てるためとしてご寄附いただきました。以上です。

増子 課長

文化課の寄附についてご報告いたします。帯広市、宗教法人真如苑とから支部代表役員、松田彰彦様から、12月15日付で現金20万円を風土に根ざした文化の振興のためとしましてご寄附いただきました。後日、ふるさと文化基金に積み立てさせていただきます。なお、平成20年以降、今回で7回目となり、総額140万円となるものであります。

本江 館長

図書館の寄附についてご報告いたします。東京都、文化庁メディア芸術祭十勝帯広展運営事務局プロデューサー、杉本友昭様より、10月26日に帯広市図書館をサテライト会場として開催した文化庁メディア芸術祭十勝帯広展の開催記念としまして、展示されましたコミック186冊、12万2,323円相当のご寄附をいただきました。次に帯広市、〇〇〇〇様より、11月20日に現金18万円をおびひろ応援寄附金としていただきました。今回で5回目、総額90万円となり、3月議会にて図書館図書整備基金として、補正の予定でございます。次に市内在住の方から、11月27日付で現金10万円をおびひろ応援寄附金としていただきました。今回で4回目、総額40万円となり、同様に3月議会で補正の予定でございます。次に市内在住、〇〇〇〇様より、11月28日におびひろ応援寄附金として現金100万円のご寄附をいただいております。同氏からの図書館への寄附は初めてで、図書館整備基金に3月に補正する予定でございます。

ます。なお、継続して寄附したいとのご意思により、〇〇〇〇文庫として文庫を設立いたします。次に帯広市文芸サークル萌えの会主宰、東館千鶴子様より、11月30日付でCDブック・大活字本、視覚障害者のための書籍等の購入に使っていただきたいとのごことで、現金2万877円をご寄附いただきました。今回が初めてのご寄附でございます。繰越金として来年の6月に補正の予定でございます。次に帯広市平原通商店街振興組合理事長、夷石行夫様より、12月10日に児童の健やかな成長と夢を広げる一助となるよう、絵本5冊と大型紙芝居1部、1万1,900円相当、2年ほど前に六花亭・藤丸前に設置されている鹿のモニュメントを題材に作製しました平原の鹿物語を絵本と紙芝居にしたもので、こちらをご寄附いただきました。紙芝居につきましては、2点の作製中、1点を図書館にいただいたものでございます。以上です。

葛西調整監

百年記念館の寄附についてご報告いたします。1件目は上士幌町在住の〇〇〇〇様から、12月3日に上士幌町糠平・黒石平地区において昭和27年から31年に撮影された写真23点をご寄贈いただきました。2件目、帯広市在住、〇〇〇〇様より、12月16日に士幌線十勝三股駅周辺を昭和67年に撮影した写真4点をご寄贈いただきました。いずれも博物館資料として保存活用してまいります。以上です。

西尾 主幹

スポーツ振興室の寄附2件をご報告いたします。まず、帯広市在住の〇〇〇〇様より、12月2日に現金100万円を寄附いただきました。スポーツ振興に役立てていただきたいとのごことでご寄附いただいたものでございます。備考に記載してございませんが、スポーツ振興基金に積み立てるということで3月補正の予定でございます。2件目は、一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団理事長、金澤耿様より、12月11日付、エアコン設備一式、エアコン7台分と設備ということで、評価額925万2,360円相当、帯広の森研修センターの食堂及びロビー等の利用者の熱中予防や快適性を図るということでご寄附いただきました。設備につきましては、7月に設備設置をしてございますけれど、当財団の評議会の認定を受けての手続きとなったため、この時期となりました。以上です。

田中委員長
各 委 員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

事務局からその他説明事項はありますか。

事 務 局
田中委員長

ありません。

ここで会議の進め方についてお諮りいたします。

次の日程第4及び日程第5の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第6号により非公開に、日程第6及び第7

の案件については、同第2号により秘密会にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各 委 員
田中委員長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのとおりに取扱いいたします。

これより会議を非公開といたします。

日程第4、報告第30号、第三期帯広市子どもの読書活動推進計画（原案）に関するパブリックコメントの結果についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

大久保部長

本日お配りさせていただきました議案書の1ページ、報告第30号、第三期帯広市子どもの読書活動推進計画（原案）に関するパブリックコメントの結果についてご説明いたします。本件は第三期帯広市子どもの読書活動推進計画（原案）に関するパブリックコメントの結果を報告するものでございます。次に2ページ、パブリックコメントの意見募集の結果公表をご覧いただきたいと思っております。本年11月20日から12月19日までの1ヵ月間、市民の皆様からご意見を募集しました結果、ご意見5件、お二人の方より寄せられました。意見の取り扱いにつきましては、今後の参考とするものが1件、その他 意見として伺ったものが4件でございます。意見等の内容の主なものといたしまして、児童保育センターに併設されているコミセン図書室の活用についてご意見をいただきました。子どもたちの読書環境の拡大やコミセン図書室の利用拡大につながりますことから、今後の参考とするものとさせていただきました。次に絵本との出会い事業について、配布時期を5か月児健診から言葉を話す2歳から6歳児に変更してはどうかとのご意見をいただきましたが、帯広市の考え方に記載してございますように、乳幼児期の早い時期に絵本を手渡すことに意義があると考えますことから、その他、意見として伺うことといたしました。以上、寄せられたご意見を検討いたしました結果、修正は行わず原案どおり策定することといたしました。今後の予定としましては、本パブリックコメントの結果を1月の総務文教委員会に報告し、2月を目処に成案として策定してまいります予定でございます。以上でございます。

これから質疑に入ります。

田中委員長
各 委 員
田中委員長

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

日程第5、報告第31号、帯広市新総合体育館建設基本計画（原案）に関するパブリックコメントの結果についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

敦賀 室長

報告第31号、帯広市新総合体育館建設基本計画（原案）に関する

るパブリックコメントの結果についてご報告させていただきます。本日お手元に配付させていただいております議案書5ページでございます。本件は帯広市新総合体育館建設基本計画（原案）に関するパブリックコメントの結果を報告するものでございます。6ページ、パブリックコメント意見募集の結果公表をご覧ください。本パブリックコメントは、本年11月20日から12月19日までの1ヵ月間、意見募集をしました結果、48件、13人の方からご意見をいただいたものでございます。これら意見の取扱いとしましては、既に案に盛り込んでいるものが3件、今後の参考とするものが34件、その他、意見として伺ったものが11件と整理させていただきました。意見の概要と意見に対する本市の考え方につきましては、7ページから10ページに記載しておりますが、建替えそのものに対する意見のほか、基本コンセプトや施設の基本方向のほか、整備予定地、施設の構成、PFI事業、さらに財源措置に関するご意見などをいただきました。寄せられたご意見を検討しました結果、修正は行わず、原案通り策定することといたしました。ただし、基本調査の段階から市民意見交換会などを踏まえ、整理してまいりました基本コンセプトや施設の基本方向、建設場所につきましても、ご意見があったことから、今後においても様々な場面を通じながら、丁寧な説明をしてまいりたいと考えております。また、PFI事業を含む施設整備やソフトのあり方については、今後、具体的な整理をしていくこととなりますことから、場面場面において、市民の皆さんのご意見を伺ってまいりたいと考えております。今後につきましては、本パブリックコメントの結果を来年1月20日の総務文教委員会に報告し、成案として整理していく予定でございます。報告は以上でございます。

田中委員長
各委員
田中委員長

これから質疑に入ります。
ありません。
別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。
これより秘密会といたします。

(以下、非公開)

田中委員長
各委員
田中委員長

事務局からの説明は以上であります。この際、各委員から他に
ご意見、ご質問等があればお受けいたします。
ありません。
別になければ、本日予定されておりました案件はすべて終了いた
しました。
以上で平成26年第26回帯広市教育委員会会議を閉会いたしま
す。